学校経営計画（グランドデザイン）　仙台市立中田小学校

児童の実態

○素直で明るく，挨拶や認め合い・助け合いの意識が身に付きつつある。
○外遊び，体を動かすことが好きである。
○慣れ親しんだ活動や指示に沿った活動に意欲的に粘り強く取り組む。
○基礎・基本の習得や，思考・判断・表現の力，自己決定の力はまだ十分ではない。
○早寝・早起き・朝ごはん等，生活習慣に課題がある。
○学年が上がると自己肯定感が低くなる傾向がある。
○一斉の学習への参加が難しい児童が増えつつある。

児童の課題

○各教科・領域等における基礎・基本の確実な習得
○自分の気持ちや考えを相手に伝わる方法で表現する力の育成
○自分で考え，自分をコントロールしながら目標達成を目指す力の育成
○健やかな体と心が育つための生活習慣づくり

保護者や地域の状況

○旧来の住宅，市営住宅，マンション，新しい住宅街等，様々な生活環境が混在している。
○新旧国道，東北本線に挟まれ通行量が多い。
○保護者・地域とも学校に協力的である。
○学習習慣・生活習慣に対する家庭の意識差が大きい。

中長期的目標

重点的に育成を目指す資質・能力

【知識及び技能の習得】 基礎・基本の確実な習得
【思考力・判断力・表現力】 学習したことを基に自分なりに課題や問題を解決する力
【学びに向かう力・人間性等】 自分をコントロールしながら目標達成を目指す力

目指す児童の姿

○心豊かな子
○進んで学ぶ子
○たくましい子

学校教育目標

心身共にたくましく，
心豊かで，主体的に学ぶ児童の育成

目指す教師像

○児童に寄り添い，一人一人の良さを認める教師
○よく分かる授業づくりに励む教師
○児童，保護者，地域，同僚から信頼される教師

短期的目標

今年度，特に重点的に育成を目指す資質・能力

【知識及び技能の習得】（語彙を増やし，）話や文章の内容を正しく理解する力《＝進んで学ぶ子》
【思考力・判断力・表現力】 自分の気持ちや考えを持ち，相手に伝わる方法で表現する力　《＝進んで学ぶ子》
【学びに向かう力・人間性等】 お互いの考えや気持ちを認め合い，力を合わせる心　《＝心豊かな子，たくましい子》

令和6年度　重点目標

学校で目指す重点目標

重点目標 1

文章を読み，内容を正しく理解する力の育成
【＝知識・技能】
《＝進んで学ぶ子》

具体の取組

①読書の楽しさを味わわせるために，全校で朝読書に取り組ませる。

②読書に興味を持たせるために，読んだ本を友達に紹介する活動に取り組ませる。

③日々の学習を通して，言語への興味を広げさせる。

④文章を読むことに慣れたり，語彙を増やしたりするために，漢字や短文等の読み上げに取り組ませる。

重点目標 2

自分の気持ちや考えを持ち，話したり書いたりする力の育成。
【＝思考力・判断力・表現力】
《＝進んで学ぶ子》

具体の取組

①自分の意見や考えを持ったり，思いを話したり，書いたりするための時間を十分に確保する。

②自分の気持ちや考えを表現させるために，低学年から話すことに慣れるための活動を取り入れる。

③自分の考えを書くことに慣れさせるために，授業の振り返りや行事後の感想等，発達段階に応じて書く活動を取り入れる。

④情報端末を活用して，自分の気持ちや考えを表現させるための活動を取り入れる。

重点目標 3

自分で考え，自分で決定する力の育成
【＝学びに向かう力・人間性】
《＝心豊かな子，たくましい子》

具体の取組

①自分と友達の考えの共通点や相違点を伝え合うために，ペア学習やグループ学習等，関わりのある活動を発達段階に応じて取り入れる。

②自主的な活動を活性化させるために，学級活動，委員会活動，クラブ活動等において「計画・実践・振り返り」の活動サイクルを充実させる

③学習習慣が身に付くようにする（宿題の習慣化を図る）ために，学年に応じて宿題の内容を工夫する。

④自分の課題を理解し，自主学習の内容を自己選択，自己決定できる力を伸ばすために，学年に応じて学び方の指導を工夫する。

三者協働で目指す重点目標

重点目標（協働型学校評価到達目標）

自分で考え，自分で決定する力の育成
学校・家庭が地域と共に，児童の望ましい生活・学習習慣の定着を図る

協働型学校評価における今年度の重点目標

生活・学習の目標を自分で決定する。
※自分から挨拶をする児童の割合を80%以上にする。
※自分で目標を決める児童の割合を80%以上にする。

三者による改善活動

学校	①自己選択，自己決定する力を伸ばす授業づくり ※自分で考える時間の確保 ※課題を選択・決定する機会の確保
家庭	①家庭学習の習慣づくり ※宿題や課題のチェック ②お手伝いの設定 ※自分で決めたお手伝いに取り組ませる。
地域	①自己決定に関する重点目標を理解する。 ②ボランティア（読み聞かせなど）として学校の教育活動に関わる。 ③それぞれの立場から児童と挨拶を交わす。 ④登下校時や放課後の過ごし方について，その場で必要な声掛けを行う。